

事務事業名	竹迫初市振興会活動支援事業					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
施策名	計画 24	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成				所属係	商工振興班	課長名	財津 幸泰
基本事業名	体系 93	伝統文化の継承				担当者名	中嶋 繁之	電話番号 (内線)	248-1115 1253
予算科目	会計 01	款 07	項 01	目 02	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 18 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 地域の観光資源である、竹迫初市振興会を助成し、地域振興を図る。 (業務の内容) 例年3月3日～4日に開催される。 申請受付、交付決定、支払、実績報告。 年1回の運営会議。 周知用文書及び横断幕の準備。 (予算の内訳) 補助金(90,000円)						総 投 入 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
事業費計 (A)								0	
人件費									
正規職員従事人数									
延べ業務時間									
人件費計 (B)								0	
トータルコスト(A)+(B)								0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

地域の観光資源である竹迫初市振興会に対し、地域振興を目的に補助する。
90,000円。年1回運営会議への出席
回覧文書の作成、HPへの掲載、横断幕の設置

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

平成18年度同様。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

初市振興会

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

古き伝統のある初市を後世に継がせると共に地域振興を図る

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

継承されている。
後継者として育っている。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 開催日数	日
イ 来場者数	人
ウ 申請・受付・交付決定・支払い・実績報告、処理時間	H

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 初市振興団体数	団体
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 事業成功したと感じた初市振興団体数	団体
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 後継者のいる団体数と割合	
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			90	90	90	90	90
			事業費計 (A)	千円	0	0	90	90	90	90	90
	人件費	正規職員従事人数		人			2	2	2	2	2
		延べ業務時間		時間			60	60	60	60	60
		人件費計 (B)		千円	0	0	238	238	238	238	238
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	328	328	328	328	328
活動指標		ア	日			3	3	3	3	3	
		イ	人			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
		ウ	H			20	20	20	20	20	
対象指標		ア	団体			8	8	8	8	8	
		イ									
		ウ									
成果指標		ア	団体			8	8	8	8	8	
		イ									
		ウ									
上位成果指標		ア									
		イ									
		ウ									

合志市

事務事業名	竹迫初市振興会活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
明治4年竹迫有志により初市の再興、竹迫初市振興会の発足を期に市町村の取り組みが始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
補助金額は年々減少している。
消費社会変化と近くで植木市の開催により来場者数も減少してきた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
付近住民と利害関係者から開催日、開催場所の協議についての意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 多くの市民が、来場し地域振興を図ることに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 地元商工業の振興のため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 付近住民と利害関係者から開催日、開催場所の協議によりさらに向上の余地がある。 竹迫初市振興会の規模としては現状でよいと思われるが、さらに大きなイベントにして成果の向上を図るのは今後の課題である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 竹迫初市振興会の予算規模からすると半減するため、存続が困難になる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 近年、補助金額も削減して、また農政課からの物資補助も平成19年度からなくなるため、さらなる削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 年1回の開催打ち合わせと開催日への参加のみであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 来場者は不特定多数のため公平・公正である。

合志市

事務事業名	竹迫初市振興会活動支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

付近住民と利害関係者から開催日、開催場所の協議によりさらに向上の余地がある。
竹迫初市振興会の規模としては現状でよいと思われるが、さらに大きなイベントにして成果の向上を図るのかは今後の課題である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

竹迫地域の地元住民の意向と竹迫初市振興会の意向の調整が必要。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

竹迫初市振興会の規模としては現状でよいと思われるが、さらに大きなイベントにして成果の向上を図るのかは今後の課題である。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項